

水道事業評価(令和7年度)						担当課	上下水道総務課
1 事業情報							
目指すべき方向性	強靱	基本政策	3 災害対策の推進	施 策	3-2 危機管理体制の確立	事 業	3-2-2 渇水対策の強化

2 事業評価の概要

項目	内容							
基本政策	地震や風水害といった自然災害などにおいて、非常時への備えを強化し、また、一日でも早い安定した日常生活の回復のために、社会基盤を支える企業としての役割を果たします。							
事業目的	水源となるダム貯水量等の情報収集を行い、渇水時においても、安定した水道水の供給に努めます。							
取組内容、数値目標及びスケジュール (単年度)	・渇水状況に応じ、渇水対策マニュアルに沿って、非常時体制へ速やかに移行します。 ・渇水対策マニュアルを適宜更新します。 ・水源情報、水源地積雪状況および気象庁長期予報等を収集し、情報提供を行います。							
期間	令和7年4月 ～ 令和8年3月							
予算額 決算額		予算額			決算額			執行率
	単位:千円	総事業費	収益的支出	資本的支出	総事業費	収益的支出	資本的支出	単位:%
	事業費計	0	0	0	0	0	0	
	工事費	0			0			
	原材料費	0			0			
	委託料	0			0			
	賃借料	0			0			
	その他	0			0			
	人件費	498			498			100%

3 中間評価(事業の進捗状況)

執行状況	上半期執行額	-	事業進捗度	B 予定どおりの進捗
	上半期執行率	-		
進捗状況	・ダム貯水量等の情報収集を行い、渇水状況の注視に努めています。 ・水源情報、水源地積雪状況および気象庁長期予報情報を収集し、必要に応じ局内への周知を行っています。			

4 終了時評価(事業の達成状況)

達成状況	・ダム貯水量、水源地降水量、積雪量等の情報収集を行い、渇水状況の注視に努めました。 ・水源情報、水源地積雪状況および気象庁長期予報等を収集しました。
------	---

5 水道事業ガイドライン業務指標(PI)・独自指標

水道事業ガイドライン業務指標(PI)・独自指標					R7	R8	R9	R10
指標名	【再掲】応急給水訓練の実施	単位	回/年	目標値	2			
算出式・根拠				実績値	2			
指標名		単位		目標値				
算出式・根拠				実績値				
指標名		単位		目標値				
算出式・根拠				実績値				

6 視点評価及び総合評価

視点	評価項目	視点評価	視点	評価項目	視点評価
有効性	指標や目標値の達成度	B	説明責任	意見や苦情に対する適切な対応	B
	目的に対する実施内容	A		情報発信の実施	B
効率性	業務のプロセス改善(創意工夫)	B	組織学習	職員の知識向上のための取組み	B
	投入した費用・労力に対する成果	B		知識の伝達	B
評価理由(特記事項)					総合評価
・平常時から情報を収集し、市民に情報を提供することで、業務の有効性の向上を見込みます。					B

7 今後の実施方針等

事業を実施する上での課題及び改善方針	今後の実施方針
・引き続き、必要に応じて渇水マニュアルの更新を行います。 ・水源情報、水源地積雪状況及び気象庁長期予報情報を引き続き収集し、上下水道局ホームページ及び公共施設での文書掲示による広報の準備を行い、渇水に備えます。	現状維持で継続